

全力を出す

毎朝、教室の黒板右にメッセージが書かれていますね。文化祭の朝は「私が見たいのは全力姿勢…それだけです」でした。そこで今回は、全力を出すことに関する新聞記事を2つ紹介します。

一つ目は朝日新聞からです。プロ野球の千葉ロッテマリーンズのマーティン選手のエピソードです。彼は試合中に右足甲にボールが当たり、骨折しました。

最初の2、3日は歩くのも痛かったが、5日ほどたつと少し和らいだ。「これはいけるんじゃないか」。2週間ほどで復帰し、その打撃でチームの勝利に貢献した。なぜ、そんなに強いのか。そんな問いにマーティンは答える。「毎日、全力で努力しないと『何か』を成し遂げることはできないと思っている。ひょっとしたら、それが強いものを築いているのかな」。

2つ目は中国新聞からです。理科実験教室などを運営している武田浩司さんが「行動工夫し全力出そう」のタイトルで、次のように言っています。

では子どもたちに求めているものは何か。その場そのとき、つまり現在の行動が「全力」なのかどうかということです。私が思う全力とは、与えられた時間の限り、できないことをできるようにするための行動を工夫することです。それこそ重要だと考えています。もし全力で取り組んでいるのに結果が出ないとすれば、工夫のアイディアに不具合があっただけだと思っています。気持ちとは無関係です。気持ちは上がったたり下がったりします。しかし、例え気分が上向かなくても、行動を最大限工夫することはできるはずです。これまで接してきた意欲的な子も、何事に対しても積極的な目的意識を持ち合わせているというわけではありません。それより目の前の課題に全力を出す習慣がついているように思います。

皆さんは、勉強に対して全力を出していますか。「今、やる気がない」、「そのうちする」ではなく、今、やりましょう。11月末には2学期期末試験が始まります。まずは、日々の授業に全力で臨みましょう。DO YOUR BEST!